

実務経験のある教員による授業科目(芸術工学部)

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	情報	産業	建築
ビジュアルデザイン論	2	企業内グラフィックデザイナーとして製品デザイン業務に携わった教員が、ビジュアルデザインについて理論と実践から授業を行う。		○	○
デザイン人類学	2	本授業は米国のスタンフォード大学d.schoolでDesign thinkingを学び、地域連携や国際協力等で文化人類学的な視点からデザインプロジェクトを行っている教員が担当します。	○	○	○
映像表現論	2	テレビ番組、CM、ドラマやアニメ制作に約20年従事した経験を生かして講義、演習指導など行います。	○	○	○
映像表現演習	1	テレビ番組、CM、ドラマやアニメ制作に約20年従事した経験を生かして講義、演習指導など行います。	○	○	○
芸術工学実習(D) 1	1	番組制作に携わった映像デザイナーや、企業においてプロダクトデザイナー、グラフィックデザイナーとして従事してきた教員らを含めて指導を行います。	○	○	
芸術工学実習(D) 4	2	映像制作の分野では実務経験15年以上、民間や公共放送の番組制作に携わった講師が指導を行います。	○	○	
芸術工学実習(D) 2	2	企業などで実務に携わった経験のある教員を含めて指導を行います。	○	○	
芸術工学実習(D) 6	2	実務経験15年以上、民間や公共放送の番組制作に携わった映像分野の専門家や、国内外で数多くの展覧会に作品を出品し発表してきた美術家等が指導を行います。	○	○	
建築材料	2	単なる講義ではなく、学生と1対1で向き合い個人の能力に合わせた指導ができることを理想としている。 ICTツール（Google）を利用し、双方向のやりとりを行いながら、建築生産活動にも理解と興味を持ってもらいたい。	○	○	○
建築計画	2	設計実務に携わった教員が実践的視点から基礎理論を講義する。	○	○	○
建築計画2	2	設計実務に携わった教員が実践的視点から基礎理論を講義する。	○	○	○
建築構造学	2	建築構造、構造設計に携わった教員、実務家が講義をする。	○	○	○
建築構造計画法	2	実務経験に基づき、事例を交えながら講義を行う	○	○	○
建築史	2	一級建築士としての設計経験を踏まえた建築意匠のあり方を講義時に提示し、建築理解を深めます。	○	○	○
建築生産	2	単なる講義ではなく、学生と1対1で向き合い個人の能力に合わせた指導ができることを理想としている。 ICTツール（Google）を利用し、双方向のやりとりを行いながら、建築生産活動にも理解と興味を持ってもらいたい。	○	○	○
建築家の仕事	2	日本建築家協会に所属する建築家が講師となり、自ら携わっている実際のプロジェクトを事例にしながら、建築家の仕事について講義する。	○	○	○
建築デジタルデザイン実習	1	コンピューターショナル・デザイン、構造デザインに関連する実務を行っている教員による講義	○	○	○
近現代建築史	2	建築設計（意匠）の実務に携わっている教員が全講義を行なう。	○	○	○
構造設計法	2	構造設計の実務家が、構造計画、耐震設計などを講義する	○	○	○
コンピュータグラフィックス論	2	企業でのコンピュータグラフィックスの実務経験がある教員が、経験による知識をおり混ぜながら講義を行う	○	○	○
広告論	2	広告会社のクリエイティブディレクターとして、数多くの広告キャンペーンを手掛けた実務経験の中で得られた“生きた”知識とスキルを講義します。	○	○	○
構成発想法	2	国内外で数多くの展覧会に作品を出品し発表してきた美術家が担当する。	○	○	○
構成(D)	1	国内外で数多くの展覧会に作品を出品し発表してきた美術家が担当する。	○	○	
構成(A)	1	国内外で数多くの展覧会に作品を出品し発表してきた美術家が担当する。			○
コンピュータグラフィックス演習	1	企業でのコンピュータグラフィックスの実務経験がある教員が、経験による知識をおり混ぜながら講義を行う	○	○	○
プロダクトデザイン論	2	デザイン事務所での勤務経験がある教員が、実務での経験を駆使して講義を行う	○	○	○
ランドスケープ論	2	ランドスケープ設計技術の実践的課題に取り組むとともに、野外で剪定バサミなどを使った植栽管理実習を実施する	○	○	○
ランドスケープ設計法	2	ランドスケープ設計技術の実践的課題に取り組む	○	○	○
流体工学	2	大手自動車企業のエンジニアとして空気力学デザインの実務経験を持つ東大輔氏（久留米工業大学教授）が第14回、15回を担当する。	○	○	○
視覚情報記号論	2	グラフィックデザインの業務及び教育に携わる教員が、専門分野における実務経験から得られた知見をもとに視覚情報記号について講義する。	○	○	○
色彩論	2	デザイン事務所での勤務経験がある教員が、実務での経験を駆使して講義を行う	○	○	○
スペースデザイン	2	講師陣は全て建築・インテリアの実務家である。	○	○	○
知的財産関連法規	2	国家資格を有する弁理士(日本弁理士会東海会所属)が、実務に即した経験を踏まえて講義する。	○	○	○
ユーザビリティ工学	2	メーカーでプロダクトデザインならびにユーザビリティテスト実査やHCD推進に携わる教員と、コンサルティングファームでUI/UX・サービスデザインならびにUXリサーチ・ユーザビリティ評価やHCD活用に携わる教員が、その実務経験を活かして講義を行う。(共に人間中心設計専門家の認定者)	○	○	○
ユーザビリティ工学演習	1	コンサルティングファームでUX/UI・サービスデザインならびにUXリサーチ・ユーザビリティ評価やHCD活用に携わる教員と、メーカーでプロダクトデザインならびにユーザビリティテスト実査やHCD推進に携わる教員が、その実務経験を活かして講義を行う。(共に人間中心設計専門家の認定者)	○	○	○
UXデザイン1	2	中川：パナソニックでデジタル機器、家電、パッケージ、UIなどのデザイン実務に加え、新商品企画や宣伝企画まで幅広く従事してきました 大学教員後は産学連携などでコミュニケーションロボットやGUIなどのデザイン開発、科研費などではアートをサイエンスしてデザインエンジニアリングに落とし込むロボティクスデザイン研究 宇宙デザイン研究 医療機器デザイン研究などを行ってきました これらの知見から、デザインの要点を解説します	○	○	○

UXデザイン2	2	中川：パナソニックでデジタル機器、家電、パッケージ、UIなどのデザイン実務に加え、新商品企画や宣伝企画まで幅広く従事してきました。大学教員後は産学連携などでコミュニケーションロボットやGUIなどのデザイン開発、科研費などではアートをサイエンスとしてデザインエンジニアリングに落とし込むロボティクスデザイン研究を行ってきました。これらの知見から、デザインの要点を解説します。	○	○	○
---------	---	--	---	---	---

【専門教育科目】

全学共通科目	0	0	0
学部等共通科目	56	56	56
専門科目	8	10	3
単位数合計	64	66	59

【教養教育科目】

全学共通科目	26	26	26
学部等共通科目	36	36	36
専門科目	0	0	0
単位数合計	62	62	62

【合計】

全学共通科目	26	26	26
学部等共通科目	92	92	92
専門科目	8	10	3
単位数合計	126	128	121